



加建第30号

平成19年4月18日

国土交通省道路局長 殿

加美町長 星 明



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼ありました、標記の件について別紙  
のとおり回答しますのでよろしくお取りはからい願います。

## 別 紙

- ・効率化を徹底的に進める上での重視すべきこと

### 橋梁維持修繕の推進

加美町は、一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川、田川、多田川等が町を縦断しており、近隣市町や各集落を橋が連絡している状況であります。完成後30年以上経過している橋梁が多く、近い将来発生が予想されている宮城沖地震で、これらの橋に異常があれば救援、救助活動に重大な支障が生じる事になります。地震に対する対策を講じておりますが、国県道に掛かる重要な橋梁については、耐震診断を実施し維持修繕に努められたい。

- ・道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

### 1. 国道347号整備促進について

国道347号は、山形県の寒河江市を起点とし、村山市、大石田町、尾花沢市、宮城県加美町を経て大崎市古川に至る重要な幹線道路であり、宮城・山形両県の産業、経済をはじめ、観光や文化など、中部東北の地域間交流をより一層促進するためにも、道路整備の重点的な推進が最優先の課題となっております。特に東北の長い冬期間の通行止めは、地域間交流の妨げとなっており、現在工事を進めている宇津野地区及び柳瀨地区の一日も早い完成による通年通行の確保が必要であります。また公共交通機関の便に難がある当地域では車への依存度が高く、車輛の増加・大型化とあいまって、交通渋滞や交通事故が顕著となっており、小野田地区・中新田地区の市街地を迂回するバイパスの整備促進が地域住民にとっての強い要望であります。

### 2. 国道457号整備促進について

国道457号は、国道4号の代替路線で山間部を通過するがゆえ、未改良部分が多く、また交通量も年々増加傾向にあり、沿線の住民にとって交通渋滞や交通事故の危険性、また冬期間の交通確保が重要な課題となっており、整備促進が強く望まれています。本町にとっても、国道347号と国道457号の重複区間が慢性の交通渋滞をおこしており、渋滞解消のためにも国道457号のバイパスとして位置づけられている町道色麻下多田川線の整備が急務であるが、町単独事業としては限界があり国道改築としての事業推進を望むものです。併せて一級河川鳴瀬川に架かる鳴瀬大橋及び色麻町内についても慢性の交通渋滞に悩まされている状況です。特に色麻町内は歩道が狭く子ども達の通学時には大変危険な状況であり、町内を迂回し色麻下多田川線を結ぶバイパス建設も地域住民にとって強い要望であります。

### 3. 道路特定財源の一般財源化後の道路整備枠の確保について

公共交通機関の衰退が進む地方にとって、車への依存が高い割には道路整備が遅れており、地域住民にとって都市間を結ぶ幹線道路、生活道路の整備は死活問題となっている状況であります。財政力の弱い地方にとって道路整備、冬期間の交通確保、道路維持等どれをとっても負担が大きく、住民の安心安全な生活を確保する上でも道路整備枠の確保に努めていただきたい。